



町内会など、6団体の代表者との連携協定も結ばれた、電信通り「絆」の開所式＝10日

電信通り商店街

# 防災拠点「絆」を開設

## 一時避難、食料確保 6団体と協定

東日本大震災1年に「り」として、事業費約500万円(3分の2補助)で整備。商店2階の約100平方メートルを備蓄庫や一時避難場所に改修した。備蓄庫には発電機や毛布、暖房器具など非常時に約20種類を配備した。同所式で同商店街は6団体と災害に備える協定を締結。東2・5商店街の一時避難所・備蓄庫は道内初。過去、水害に見舞われた経験があり、国の「災害に強い商店街づくり」を「絆」から市の避難所に移すための「高齢者避難支援連携協定」を、商店街にある「セイコーマート帯広電信通」とは一時避難者の食料確保のため「食料品の優先供給連携協定」を結んだ。同商店街は今後「絆」を使い、防災学習会などを毎月開く。長谷理事長は「この場所を使って住民の絆を強め、安全・安心な商店街になるよう努めたい」と話している。

(川原田浩康)